



*Center for Adult Learning, Literacy
& Japanese as a Second Language, Osaka*



2002年に設立された「おおさか識字・日本語センター」は、
識字学級、日本語教室、夜間中学校など異なる学習の場で学ぶ人たちとともに
市民ボランティア、教職員、人権協会、行政担当者など多様な人たちが
連携・協力して、識字・日本語学習を充実・発展させる取り組みの

かなめ

要となるセンターです。



〒552-0001 大阪府大阪市港区波除4-1-37 HRCビル10F教育サロン内

TEL/FAX : 06-6581-8582 E-mail: mb@call-jsl.jp URL: <http://www.call-jsl.jp/>

事業実施概要

事業名称	大阪府の識字・日本語教室活動支援体制づくり事業			
地域の課題	府内の約205の教室では約4500人の学習者と約2700人の学習支援者が、厳しい財政基盤の上で、各教室それぞれの努力によって活動を続けている。今後、各教室の相互協働により活動内容の充実を図っていくために、取組みの成果や課題を共有し、課題解決に向けて各教室が連携して取り組んでいける体制を作っていく必要がある。			
事業の目的	府内で活動する約205の教室の活動を日常的に支援していくための体制づくりを進める。各教室・地域の連携を強め、民間ボランティアと地域行政が協働して学習支援活動を充実・発展させる体制を整備する。			
事業内容	取組1		取組2	
	名称	識字・日本語学習コーディネーター連絡会議の開催	名称	識字・日本語教室等運営者連絡会議の開催
	目的	府内全体の学習活動支援の仕組みづくり及び体制整備を進める。	目的	教室が市町村行政とも協働して取り組んでいける体制づくりを進めていく。
	内容	取組全体の進捗を確認し、各取組みがより効果的に実施されるよう協議。	内容	各地域の運営者が情報交換・意見交換を行う。
	対象	教室コーディネーター等	対象	各地域の教室運営者
	時間	1回2時間×12回(全24時間)	時間	1回2時間×4回(全8時間)
	人数	7人	人数	14人
	取組3		取組4	
	名称	識字・日本語学習支援シンポジウム	名称	識字・日本語学習支援セミナー
	目的	教室が果たしてきた役割を問い直し、新たな仕組みをつくる。	目的	活動の悩みや課題を共有し、学習支援の視点やスキルを学ぶ。
	内容	実践報告をもとに、継続的に協働できる仕組みづくりについて協議。	内容	教室活動の課題解決のための講演及びワークショップを実施
	対象	教室関係者、行政担当者等	対象	識字・日本語教室の学習支援者
	時間	1回2時間20分×1回(全2時間20分)	時間	1回3時間×1回(全3時間)
	人数	54人	人数	40人
	取組5		取組6	
	名称	よみかきこうりゅうかい	名称	学習支援者体験研修
目的	交流を通して、日常の活動への意欲や課題を解決していくヒントを得る。	目的	行政担当者が基礎自治体としての学習活動支援を充実させていく。	
内容	全体会及び分科会を行い、日常の活動の成果や課題等を話し合った。	内容	日本語教室を訪問し、行政担当者が学習支援活動体験を行った。	
対象	府内の識字・日本語教室の学習者、学習支援者	対象	府内43市町村の担当者	
時間	1回4.5時間×1回(全5時間)	時間	1回2時間×1回(全2時間)	
人数	389人	人数	54人	
連携体制	大阪府教育委員会をはじめ、関係組織との日常的な連携により事業を実施。また市町村担当課の協力を得て、府内各教室の情報収集・発信を行っている。			
成果と課題	教室の運営者が府内全体の活動を推進する取組みへの参画意識が高まった。行政職員のネットワークが強化され、官民協働の取組み体制づくりが進んだ。			
参加者の皆様へ一言	「識字」と「日本語」が一つになっているセンターは日本唯一、大阪ならではの先進的な取り組み。必見です！！さあ、みんなで情報交換しましょう。			